2021年11･12月発行

上下水道局からのお知らせ

令和2年度決算　「上水道事業」

令和2年度経営成績は、事業収益3,794,024千円、事業費用3,307,862千円となり、収支差引の結果486,162千円の純利益を計上することができました。
この純利益は、老朽施設の更新や企業債（借金）の返済に備えて積み立てます。

収益的収支

1年間の営業活動による収入と、それに対応する支出のことです。

収入　約37億9千万円（前年度比 0.1%減）

- 水道料金　33.9億
- その他　4.0億

支出　約33億1千万円（前年度比 1.0%増）

- 人件費　10.4億
- 維持管理経費　9.8億
- 減価償却費　11.4億
- その他　0.6億
- 企業債利息　0.9億

純利益　約4億8千万円（前年度比 7.1%減）

純利益は、水道料金収入の減少や、減価償却費等の増加によって、昨年度より減少しました。

資本的収支

水道の施設をつくるための費用や過去に借入れた資金の返済と、その財源の収支です。

収入　約10億円（前年度比 18.4%増）

- 企業債8.5億
- その他　1.5億
- 収支不足額14.3億
  ※純利益等を積み立てた財源等補てんしました。

支出　約24億3千万円（前年度比 8.8%増）

- 老朽化した施設の更新等の費用　15.4億
- これまでの施設整備等に係る借入金の返済　8.9億

主な施設の更新等の内容
- 水道管の布設及び布設替え …… 12.8億円
- 浄水場等の設備の新設･更新 …… 1.1億円

企業債残高　約97億3千万円（前年度比 0.5%減）

令和2年度決算　「下水道事業」

令和2年度経営成績は、事業収益5,859,841千円、事業費用5,330,274千円となり、収支差引の結果529,567千円の純利益を計上することができました。
この純利益は、企業債（借金）の返済に備えて積み立てます。

収益的収支

1年間の営業活動による収入と、それに対応する支出のことです。

収入　約58億6千万円（前年度比 2.4%減）

- 下水道使用料　21.1億
- 一般会計繰入金　16.5億
- 減価償却費対応収益　20.2億
- その他　0.8億

支出　約53億3千万円（前年度比 4.1%減）

- 人件費　5.3億
- 維持管理経費　7.8億
- 減価償却費　34.2億
- その他　3.4億
- 企業債利息　2.6億

純利益　約5億3千万円（前年度比 19.0%増）

純利益は、施設の維持管理経費等の減少により、昨年度より増加しました。

資本的収支

下水道の施設をつくるための費用や過去に借入れた資金の返済と、その財源の収支です。

収入　約40億1千万円（前年度比 39.7%増）

- 企業債　17.9億
- 国庫補助金　18.2億
- 一般会計繰入金　3.8億
- その他　0.2億
- 収支不足額33.3億
  ※純利益等を積み立てた財源等で補てんしました。

支出　約73億4千万円（前年度比 22.7%増）

- 老朽化した施設の更新等の費用　51.4億
- これまでの施設整備等に係る借入金の返済　22.0億

主な施設の更新等の内容
- 下水道管、ポンプ場の改築など…… 40.2億円
- 処理場の設備の改築更新など…… 3.7億円

企業債残高　約313億6千万円（前年度比 0.6%増）

事業概況 ―上水道―

安定給水の確保と住民福祉の向上を図るため、施設の維持管理、改良整備、更新等を実施しました。

節水器具の普及や人口の減少などにより水道料金収入は減少傾向にあります。

これからも、市民生活に重要なライフラインを維持するためにも、災害に強い水道施設へ再構築するとともに、今後の水需要に応じた施設規模へ見直しを進めるなど、効率的な事業運営を進めることにより、安全・安心・安定した水道水の供給に努めます。

	項目	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
事業概況	行政区域内人口	人	162,553	163,482	164,837
	給水人口	人	161,619	162,516	163,794
	年間配水量 (a)	千㎥	19,862	19,658	20,533
	年間有収水量 (b)	千㎥	18,185	18,097	18,395
	年間有収率 (b/a)	%	91.6	92.1	89.6
	給水原価	円/㎥	175.60	174.55	170,39
	供給単価	円/㎥	186.43	188.06	188.10
	水道管の耐震適合率	%	27.0	25.9	24.9
	水道管の老朽化率（布設から40年以上経過）	%	16.1	15.7	15.8
	水道管の更新率	%	1.0	1.0	0.7
	鉛管使用戸数	戸	7,164	7,676	8,222

事業概況 ―下水道―

快適な生活環境の確保、公共用水域の水質保全及び浸水被害の軽減を図るため、施設の維持管理及び計画的かつ効率的な施設整備を行いました。

今後の事業運営は、事業着手から70年以上経過し、人口減少などによる使用料収入の減少が見込まれる中、老朽化した施設の改築更新への投資を最優先とし、効率的に維持管理していかなければならない状況です。

今後も安定的な事業継続のために、経費節減を行い、経営の健全化に努めてまいります。

	項目	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
事業概況	人口普及率	%	81.7	81.4	81.3
	処理区域面積	ha	3,044.8	3,043.5	3,042.6
	年間汚水処理水量 (a)	千㎥	17,914	17,801	19,242
	年間有収水量 (b)	千㎥	12,381	12,301	12,330
	年間有収率 (b/a)	%	69.1	69.1	64.1
	使用料単価	円/㎥	170.36	171.87	171.34
	汚水処理原価	円/㎥	146.89	153.25	147.40
	老朽管きょ延長（布設から50年以上経過）	km	52.5	44.5	38.6
	修繕・改良・更新管きょ延長	km	5.9	2.5	3.8

※宇部・阿知須公共下水道組合は除いています。

水道管の凍結に備えましょう

冷え込みが厳しくなると、水道水が凍結し、水道管が破裂する恐れがあります。急な冷え込みに備えて、事前に水道管の凍結対策を行いましょう。

屋外の蛇口や水道管は、保温材や布などを巻いて寒さに備えてください。

凍結した場合は、自然に溶けるのを待つか、凍結部分を布で覆い、ぬるま湯をかけてください。熱湯をかけると、蛇口や水道管が破損することがありますのでやめてください。

水道管が破損した場合は、水道メーターの手前に設置されている止水栓を閉めて、漏水を止めてください。次に、指定給水装置工事事業者、または、宇部管工事協同組合（電話：0836-62-5695 ファックス番号：0836-62-5696）に修理を依頼してください。

（修理費用は、お客様負担となります。詳細は下記URLを参考にしてください。）

水道管を寒さから守りましょう！ https://ubesuido.jp/pages/46/ 二次元コードからもアクセスできます。

新型コロナウイルス感染症の影響で料金のお支払いが困難な方へ

新型コロナウイルス感染症の影響により、水道料金・下水道使用料のお支払いが困難な場合は、お支払いの猶予や分割など、ご相談に応じます。下記の担当部署までお問い合わせください。

お支払い猶予のご相談先

営業課料金係　電　話：0836-21-2306　ファックス：0836-21-2172
受付時間（平日）9：00～17：00

宇部市上下水道局
Ube City Waterworks & Sewerage Bureau

〒755-0022　宇部市神原町一丁目8番3号
電話：0836-21-2171　ファックス：0836-21-2172
URL：https://ubesuido.jp
メールアドレス：soumu@ubesuido.jp